

議会だより



なかさつない



響け！声高らかに（中札内中学校文化祭より）

9月定例会	p 2～9
決算審査	p 2～5
一般質問～5人の議員が登壇～	p 6～8
特別委員会の設置	p 8
条例改正、補正予算	p 9
第4回臨時会、委員会活動報告、編集後記	p 10

策の効果審査

平成28年度一般会計の歳入決算は、前年度比58・6%増の68億3303万円となり、歳出についても前年比63・6%増の66億8693万円となりました。また、大規模草地牛舎建設工事、産地パワーアップ事業の機械導入事業、公営住宅改修工事、村道59号道路災害復旧工事などの翌年度繰越額は4億2228万円です。

決算審査

平成29年9月 村議会定例会

9月定例会は、9月7日に招集され、会期を20日までの14日間と決定し、7日には陳情1件、報告1件、承認1件、議案12件を審議・可決しました。

また、平成28年度各会計決算の認定7件については、11日と12日の2日間、本会議で審議され、全て認定されました。

20日は、新庁舎建設調査特別委員会を立ち上げたほか、追加議案2件を可決し、一般質問では、5人の議員が質問を行い閉会しました。

総務費

コミュニティバス利用状況は

問 コミュニティバスの全体の利用状況と、その中での老人クラブ、ポロシリ大学に利用される取組み状況は。

答 市街地では、10月の開始当初は月に100名ほどの利用者数だったが、冬期間は150名ほどに増加した。上札内は、月に60人ほどの利用者数で推移している。農村地域は、開始当初は月20人ほどの利用者数だったが、冬期間は10名ほどに減少している。老人クラブ、ポロシリ大学の利用に関しては、利用されるよう周知に努めていく。村民にとって利用しやすい運行になっているのか把握し、運行計画の見直しなどを行っていくべき。



村民の足としての活用が期待される「くるくる号」

総務費

景観保護と環境美化の向上へ

問 景観を守り継承していくことを目的とし、「日本で最も美しい村連合」に加盟しているが、公共施設敷地で草刈り等の管理状況は変わっていない。景観にもっと関心を向け、環境美化の向上に努めるべきではないのか。

答 まずは公共施設等をきれいにすることを意識し、施設管理などに一層の注意を払っていく。

提言 各課がお互いにチェックする体制を構築するなど、景観に配慮した施設環境の美化に努めてほしい。



相互チェックによる緑地の適正な管理が求められる

総務費

ふるさと納税増加の要因は

問 ふるさと納税が増加した要因と工夫した点は。また、どのような返礼品が選択されているのか。

答 「ふるさとチョイス」への登録を行い、クレジット決済が可能となったことが大きいと考える。

今後、他のポータルサイトの利用も検討し、季節の野菜をPRするなどの工夫を行っていく。返礼品はチーズとアイスで全体の4割となっている。

提言 各自自治体がしのぎを削る中、返礼品の食べ方を示すなどの工夫やいち早い情報発信などに努められたい。

総務費

花咲くコンサートの実施効果は

問 花咲くコンサートは2回目を終えているが、成果をどのように捉えているのか。また、村民の入場者数は。

答 村民の入場者数は把握しきれないが、企業との協賛や帯広市との連携事業を行ったことにより、多くの方が中札内村を訪れてくださり、交流人口の増加に寄与できた。

提言 人の交流も大切だが、村民の入場者数が多くなかったのであれば、村民向けPRにさらに努めるべき。



多くの人々が来村した花咲くコンサート

民生費

デイサービス利用者数が減った要因は

問 ポロシリ福祉会運営助成補助金があり、前年度より341万円ほど増えているが、デイサービス利用者数の減によるこのことだが、その要因は。

答 前年度比258名8・4%の減であり、地域密着型への移行により定員数を減らしたことが要因と考えている。また、「夢という」でもサービスをやっていることや村外事業者におけるサービスの提供も影響している。

平成28年度 決算審査

チェック



お金の使いみちと施

歳入歳出増の主な要因は、えだ豆工場増設のための強い農業づくり交付金事業18億1625万円の実施や、村民プール建設、村民体育館改修事業などがあつたことによるものです。

基金残高は一般会計と特別会計を合わせて**40億5350万円**で、前年より1億2236万円余り増加し、**村民一人当たり101万円の貯金**となりました。

また、**地方債残高**は**44億9746万円**で、前年より3億3740万円の増加となり、**村民一人当りの借金は112万円**となりました。

なお、決算認定審査での質疑の主なものを掲載します。

民生費

保育園の問題解消とは

問 実績報告で、施設移転に関する問題点の解消を行ったとの報告があるが、どのようなことの解消だったのか。

答 お昼寝の部屋が暑く、エアコンを設置し解消を行った。さらに、扇風機による空気循環も行い、子どもたちが快適に過ごせるよう工夫している。

衛生費

ごみの出し方の周知徹底を

問 生ごみ収集資源化委託費が、100万円ほど予算より少ない決算になっている。これは生ごみが燃えるごみとして出されているからではないのか。

答 生ごみ量とその処理費は対前年比で同程度であり、予算残の要因は炉の修理がなかったことによる。

提言 生ごみが燃えるごみで出され、カラスに荒らされている現状もある。ごみの出し方に関する注意喚起や転入者に対する周知をさらに徹底された。



適切な分別の周知を

農業費

村有林間伐事業の実施状況は

問 昨年は台風の被害により間伐事業が行われなかったが、実施されなかった場所は平成29年度で取組まれているのか。

答 平成29年度は別に間伐を必要とする林があり、昨年実施できなかったところは来年度以降に実施することとしている。

提言 いろいろな事情があると思うが、適期に間伐を行うことで障害を予防できることから、技術者との連携により適期間伐に努力されたい。

衛生費

リサイクルセンター就業賃金の見直しは

問 リサイクルセンターでの就業者の時間当たりの賃金はいくらか。また、昨年は単価改正がされたのか。

答 1時間840円で、平成26年度の臨時労働職員の賃金見直しで、北海道の最低賃金を当面下回らない単価アップを行っており、昨年度は改正を行っていない。

提言 最低賃金を下回らなければ良いという考えではなく、最低賃金も年々アップされており、連動して単価改正するという考え方が必要。

商工観光費

まちなかにぎわいづくり計画の進捗状況は

問 まちなかにぎわいづくり委員会からの提言を受け、昨年、大分県と福岡県に先進地視察を行っているが、その情報収集と課題の検証結果はどのようなだったのか。

答 商店街の魅力向上の参考に資するため、先進地視察を行ったが、そこにはキーマンやリーダーとなる人材が必ずあり、各種団体と行政の連携という地域の仕組みづくりがあった。村に合ったストーリーやコンセプトづくり、地域を巻き込んだ役割分担などの検討を行い、委員会からの提言については、庁舎の移転計画も併せ総合的に検討していきたい。

提言 答えを見出すことは簡単ではないが、検討することだけで埋没することのないよう、一步一步進める必要がある。



豊後高田市では、昭和の街並みを再現し商店街の活性化を図っている

主な決算質疑

平成28年度
決算審査

商工
観光費

札内川園地の整備計画は

問 キャンプ場の利用者が増えてきているが、台風被害にあったバンガローの建替えや撤去した滝見橋に変わる施設の計画はあるのか。

答 安全対策も検討する中でバンガローの在り方については考えて行きたい。また、滝見橋の撤去によりびょうたんの滝が身近に見られないという意見もあるが、札内川園地全体の在り方について考えなければならぬ時期に来ており、それらも含めた課題等の整理を今年度中に行い、来年度で反映できることは実施していく。

提言 札内川園地は本村の大きな観光拠点の一つであり、早期に計画を立て、その対策や魅力の向上に取組まれない。



利用客が増えている札内川園地キャンプ場

土木費

道路路盤再生舗装工事後の状態は

問 39号道路路盤再生舗装工事は、改良舗装に比較し4分の1程度の工事費ですみ、工事期間も10日ほどで完成するとの説明を受けたが、冬を越し1年が経過しているが、道路状態は。

答 冬期間に若干の盛り上がりがあったが問題になるほどではなく、良好な状態にある。簡易舗装道路で路面状況が悪いところが多くあり、この工法を活用し今後の改修を早められたい。

商工
観光費

道の駅駐車場の利用状況改善は

問 広いスペースの大型用駐車場が整備されたが、5台しか停められず、空いているスペースには普通車が駐車している状況にある。改善が必要ではないのか。

答 普通車の駐車対策として、鎖の設置や第2駐車場への誘導看板を設置した。大型車両の駐車方法などを再検討し、必要な改善は行なっていきたい。



混雑時には普通車が停められている道の駅大型車専用駐車場

土木費

村営住宅の暖房機設置は

問 平成22年度建設の鉄道公園団地まで設置されていた暖房機がそれ以降設置されなくなり、今年4月には村で行っていた保守点検も入居者で行うよう通知がされている。ふれあい団地は補正予算で冷暖房機などを設置する機能向上予算が補正されたが、他の村営住宅とアンパランスが生じ、改善が必要と考える。また、保守点検は設置者である村が行うべきと考えるが、意見は十分理解できるものであり、対応について内部検討をさせていたか。

答 設置すれば家賃が上がることになるが、入居者に喜ばれる住宅であるよう検討されたい。



ふれあい団地に設置された暖房機

消防費

災害対策の状況は

問 昨年の台風被害により、村の災害対策における課題抽出や計画見直しなどの整理はされているのか。

答 庁内対策会議により、反省点や課題を出し合いまとめている。防災計画の見直しはないが、業務継続計画の再認識や各課の対応について再確認を行っている。また、今年度新たなハザードマップ（洪水浸水想定区域図）の作成を行う。

教育費

教育機会を補償する 保護費の利用実績は

問 扶助費の中に新たに保護費が加わったが、どのような事業で利用されたのか。

答 ひとり親家庭で母親が入院され、その期間も学校に通学できるよう支援したもので、保護施設の宿泊・食事代の支出と、バスによる通学であったことから交通費を支出しており、2回の入院に対応している。

教育費

パークゴルフ場改善要望

問 札内川総合運動公園P.G場と上札内交流広場P.G場のティマークは、球状のものが設置されているが、他のP.G場ではそのようなものは見たことがなく、草刈り時に脱着の手間がかかっている。これらの改善を要望するがいかがか。

答 管理を行っている施設課と対応について検討を行い、必要な対策を行なう。
提言 その他、OBゾーン内樹木の枝払いの実施、札内川総合運動公園P.G場休憩ハウスの設置について検討願いたい。

税金の使われ方は？

教育費

中学生国際交流事業の評価と今後の課題は

問 青少年国際交流事業では、オーストラリアモルヤハイスクールへの派遣と受入れが実施されたが、その結果をどのように評価しているのか。

答 モルヤへの派遣は7名で、受入れは10名だった。中札内中学生からは報告会とレポートの提出がされたが、文化や自然のスケールの違いに驚きの声があり、モルヤで温かく迎えられたことに感謝の気持ちが述べられていた。受入れでは中学校で授業と一緒に受け、学校外では書道、お茶、座禅体験など、日本の文化を学んでいた。また、保護者からは継続希望の声があるが、モルヤ側は個人での対応であり、引率者は中札内に滞在されず、モルヤの子ども達の不安感やトラブル対応時に相手方引率者が不在という心配もあり、課題だと感じている。

提言 文化や環境の違いを肌身で感じることは大きく成長する糧となる。課題を克服され、今後も良い事業であるよう執り進められたい。



書道体験で日本の文化に触れるモルヤハイスクールの生徒たち

教育費

村民プール「すいすい」の水深について

問 新村民プール「すいすい」の水深が当初計画より浅くなったが、至った経過はどのようなことか。

答 水深について、少年団からは飛び込みが可能なら130センチはほしいとの要望もあったが、小学生の利用が多いこともあり、子どもたちの安全確保のため現在の水深に決定した。

提言 新篠津村議会のプール視察時に、同席していたブルメーカは、村民プール「すいすい」は使い勝手では全道トップクラスとの評価をされていた。深さに疑問の声も聞こえることから、安全性確保の理由を周知する必要があるのではないか。

介保会計

認知症への支援体制は

問 認知症初期集中支援委託で、支援チーム構成員はどのような方で組織され、どのような支援を行ったのか。

答 認知症サポート医1名、認知症看護認定看護師1名、福祉士1名の3名の構成で、支援が必要な世帯を把握し、家族との面談を通じ実態を把握する中で必要なサービスを決めていく作業を行っている。その後は投薬治療、医療機関への接続を行っていく。

提言 日常生活の中で認知症は緩和や改善がされるといふ話も聞き、家族と連携した支援体制は今後も必要とされていくと思う。認知症になっても最後まで自宅で暮らせる村づくりを目指されたい。



歳入

村税などの収納率向上の要因は

問 村民税等の収納率が向上しているが、成果につながった特徴的な取り組みは何か。

答 早期の督促に力を注ぎ、現年度分の納付率が伸びてきている。また、納税相談を行い、その状況により納付計画を立てていたなど、取組みによると考えている。

問 村営住宅使用料の収納率が画期的に向上している。徴収業務の改善点は何か。

答 徴収マニュアルを作成し、1ヵ月ごとの督促の実施や3ヶ月の滞納になれば保証人と連絡を取るなどルール化して1年間実施した。また、税務担当職員との連携による組織的な取組みも成果につながったと考えている。

本会議で決算認定審査の結果、各会計決算は可決され認定されました。

決算質疑の内容が、本年度の事業及び平成30年度予算へ反映され、よりよいまちづくりへと発展するよう、議会としましても引き続きチェック機能を発揮してまいります。

一般質問では、5名の議員が行政全般の事務執行状況や今後の方針などの報告・説明を求めて質問を行いました。

高齢者福祉の充実

森田村長

福祉ネットワークづくりを

具体的取り組みは

中西議員



中西千尋議員

村長は、共に支え合う共生の村づくりなど、30余りの公約をされました。高齢化社会の現在、各福祉団体との連携と支援の具体的内容、今後新たに取組む施策について伺います。

森田村長

本村においても、核家族化や高齢単身世帯が増加するなど、情勢が変化している今、2050年の高齢者人口ピークに向け、中・長期的な視点に立って地域ぐるみの高齢者福祉を進めることが急務であります。

住民同士の扶助意識を高め

ることにより地域内での相互支援体制を構築することと、各団体間や行政との連携・協力体制を備えた福祉のネットワークづくりを進めます。

具体的には、昨年より始動した「生活支援体制整備事業」による協議体で、新たに必要となるサービスを発掘・開発する作業を順次進めていきます。

また、各団体に対しては、運営補助金を交付するなど支援の強化を図り、高齢者福祉の充実を目指します。

新たな施策としては、情勢の変化への対応を常に意識し、村長公約である「村長茶話会」など懇話の機会を積極的に活用し、福祉行政を推進していきます。



森田村政の公約実現は

森田村長

全力で取組む

実現に向けた取組みは

黒田議員



黒田和弘議員

森田村長の第8代目村長就任を、心からお祝い申し上げます。

村長は、32項目の約束を掲げて当選し、就任挨拶でその取組みについて決意表明されました。

その目指すところは、共生の村、成長する村、希望の村、という3つの村づくりであると述べられ、その実現に、村民の大きな期待と関心が寄せられています。

その公約の実現に向けて、どのような取組みをして、村政を執行していくのか伺います。

森田村長

公約の実現に向け、既に取組みを始めたものの、具体化したものもあります。

現在策定中のまちづくり後期基本計画に位置付けるとともに、財政運営を見据えた実施計画を具現化し、総合行政推進委員会やパブリックコメントなどにより住民のご意見を頂き、スピード感を持って進めていきます。

公約実施には、自ら村民のもとに足を運び「住民第一・現場主義」を実践して、これからの4年間、希望の持てる村づくりに全力で取組んでいく決意です。



一般質問

中井議員

宮部議員

旧プールの利用

利用構想は

中井議員

上松教育長

ゲートボールのほか多目的に



中井康雄議員

旧プールについては、ゲートボール場を主とした屋内多目的運動施設として整備されると思いますが、利用構想はどのように想定され、利用開始はいつ頃になるのか。また、改修費はどの程度で、屋外ゲートボール場の移転も考えられているのか伺います。

なほ、上札内プールの跡地ですが、舗装での整備を行うべきと思いますが、考えを伺います。

上松教育長

旧中札内プールは、築45年を経過していますが、構造計算応力解析では補強すること

により耐えられる鉄骨架構となることから、改修し、平成30年12月から利用できるように進めたいと考えています。事業費は1億4000万円程度になる見込みで、利用構想についてはゲートボールを主とし、少年団や中学校部活動など雨天時の練習に利用していただければと考えています。

屋外ゲートボール場は、中札内診療所駐車場南側に新たに造成する方向で、ゲートボール協会などと協議を進めます。

上札内プールの跡地については、美しい景観の形成や管理を考慮し、芝生による緑化を想定しています

が、上札内行政区の意見も伺いながら決める考えです。



改修される旧中札内プール

人口減少と企業誘致

トップセールスとしての取組み

宮部議員

森田村長

自ら足を運んで魅力発信を



宮部修一議員

村の人口は、長年維持してきた4000人台を割り、少子高齢化の波が押し寄せるなか、各自自治体が地方創生の下で競う時代となり、人口を維持し、さらに増加させるためには新たな政策が不可欠です。

そのためには、村の利便性や将来性を前面に出し、企業誘致に向けたさらなる取組みが必要です。

その実現に向け、村長自らがトップセールスとして取組まれる考えがあるか伺います。

森田村長

中札内村は、昭和61年度に「企業立地促進条例」を制定

し、これまで企業誘致に積極的に取組んできました。そのことで、村の風土にあった「環境共生型企業」の誘致につながり、メセナ活動は村のイメージアップに大いに貢献してきているところですが、進出企業従業員の多くが中札内村に転入していないこともあり、村の経済の底上げには十分に生かされておらず、人口減少を克服する新たな視点が必要だと考えています。

トップセールスによる情報発信が企業誘致につながるものと認識しており、既存のSNSの活用のほか、私自身が実際に足を運び、村の魅力発信に努める考えです。



トップセールスで企業誘致

一般質問

男澤議員

桜六花公園
の観光推進

森田村長

魅力・環境整備を

段階的に整備

男澤議員



男澤秋子議員

桜六花公園は、2000本の桜が植樹されてから18年が経過し、見ごたえのある桜の花が楽しめる場所となっており、本村の観光資源として大いに期待されます。そこで次の点について伺います。

①情報発信内容とドローンを活用した動画配信の考えは。
②現地に行くための公共交通機関が無く、シャトルバス運行の考えは。

③今年は観光協会によりカフェの設置がされたが、食の提供で来年の弁当や飲み物などを拡充する考えは。
また、バスツアー実施の考えは。

森田村長

①観光協会のホームページや防災情報無線などで随時開花情報を発信しています。動画配信は、開村70周年記念記録映像でドローンによる撮影を行っており、ホームページで公開予定です。
②入込みやニーズに応じてシャトルバスの運行を検討します。
③次年度以降も観光協会による軽食の提供やライトアップでの演出も検討していきます。



桜六花公園に設置されたカフェ

す。バスツアーの実施は、駐車場の拡張やトイレの設置など全体的な環境整備が必要であることから、魅力発信を進めると共に入込みを注視し、段階的な体制づくりに努めます。

各種委員の選任

◆中札内村

公平委員会委員

榎 志津子 氏

知本 正幸 氏

高木 達彦 氏

選任に同意しました。

◆固定資産評価審査

委員会委員

片山 勇一郎 氏

選任に同意しました。

◆教育委員会委員

加藤 淳司 氏

川田 一幸 氏

任命に同意しました。

中札内村新庁舎建設調査特別委員会

新庁舎のあり方を検討するため
特別委員会を設置しました

村は、役場庁舎を平成32年度までに新たな庁舎に建替えるため、9月定例会補正予算で基本設計委託費などを追加する提案があり可決しました。

新庁舎は、村民の将来に向けた貴重な財産であり、十分な検討と調査を行い、村民にとって身近で有効に機能する庁舎となるよう村に提言していくため、議会は、議長を除く6人の委員で構成する「中札内村新庁舎建設調査特別委員会」を設置しました。

委員長 中井 康雄
副委員長 男澤 秋子

第1回委員会

委員長、副委員長の互選を行いました。

第2回委員会

村から示された「中札内村新庁舎建設基本構想・基本計画(案)」について精査を行い、基本的考えの妥当性についてさらに検討を進めることとしました。

次の活動

として、平成27年度に完成した岩内町と黒松内町の庁舎の視察・調査を行います。



建替えが計画されている現在の役場庁舎

条例の改正

◆中札内村特定公共賃貸住宅管理条例の一部改正

3月に完成したふれあい団地が、現在まで1件の入居にとどまっております。入居基準緩和と家賃減額の規定を新たに設けるものです。

緩和は、世帯の生計中心者の入居上限年齢を40歳から50歳へ引上げ、子の上限を中学生から18歳に引上げるもので、家賃減額規定は、同居する子1人当たり5,000円を減額し、上限を1万円とするものです。



入居条件を緩和し再募集される「ふれあい団地」

問

民間住宅も多く建設されている中、この改正で自信をもって全戸入居されと言えるのか。

答

制度改正のほか、冷暖房機、ガスコンロ、照明器具、ウォシュレットを設置するなどの生活環境向上のための設備充実も行う。報道やホームページを通じて周知するなど広く呼び掛け、入居されるよう努力していく。

提言

効果を期待するが、入居者がいない場合には再度の要件緩和の検討を。

問

駐車場が8台分整備されているが、1世帯2台の車を所有する時代であり、狭く感じる。第2駐車場の整備などは検討されているのか。

答

状況は把握しており、南側の用地や隣接する村有地での追加整備も視野に検討している。今後、入居者の意見を聞き、改善すべき点は改善していく。

提言

子育て支援の充実という意識の下、住みよい環境への改善を執り進めたい。

補正予算

補正予算審議の中で質疑のあった主なものを掲載します。

○新庁舎建設基本設計委託

1859万1千円

○講師謝礼

40万円

役場新庁舎建設に係る基本設計委託費を追加するもので、委託業者の選定はプロポーザル審査を予定し、外部審査委員に係る報償費も追加するもの。

問

講師謝礼の具体的内容は。

答

プロポーザル審査にあたり、審査委員に村内の関係者のほか、外部の権威ある建築家2名にも依頼する予定で、その外部委員の報酬、旅費等を計上している。

○プレミアム商品券事業補助金

443万円

村内の商店等における消費拡大を目的として、商工会が11月に実施するプレミアム付き商品券の販売に対し助成するもの。

問

商品券は、マックスバリュやホームマックスバリュ、新たにできるJA直売所でも利用できるのか。

答

マックスバリュとホームマックスバリュは昨年度から利用できており、JA直売所については未調整なので、今後商工会と調整を行いたい。

提言

商品券で地元の農産物を購入したいという村民もいると思うので、農協にも声掛けし参加してもらえるよう商工会と協議・調整されたい。

○不育症治療費 20万円

不育症の治療に対し、一人当たり一回20万円を助成するため追加するもの。

問

治療費の助成を受けるにあたり、年齢や回数の制限はあるのか。また、村民への周知の方法は。

答

年齢や回数の制限は設けていない。ただし、1月1日現在で村に住所があること、村税等の滞納がないこと、条件がある。周知については不妊治療のことも併せて広報誌に掲載したい。

提言

不育症についての理解がまだまだ浸透していない中、治療すること出産につながることを広報誌の中だけでなく、機会を捉え説明していく必要がある。また、治療に要する負担は大きく、一人ひとりに寄り添って対応することに努められたい。



～お知らせ～

次回の定例会は、12月上旬に開会予定です。

会期が決まりましたら、情報無線でお知らせします。

主な内容は、一般質問と議案審議です。

村民みなさんの傍聴をお待ちしています。また、インターネットによる議会中継を実施していますので視聴ください。

第4回臨時会

平成29年第4回議会臨時会は7月31日(月)に開会、議案3件を審議し、原案どおり可決して閉会しました。

条例の改正

◆中札内村認定こども園条例の一部改正

◆中札内村立へき地保育所条例の一部改正

平成29年3月31日に国で公布された「子ども・子育て支援法施行令の一部を改正する政令」において、幼児教育の段階的無償化が推進されたことに伴い、

「非課税世帯の第2子に係る保育料の無償化」と「ひとり親世帯等に係る保育料の軽減措置を拡充」することになり、北海道で本年4月1日より施行された「多子世帯の保育料軽減支

援事業実施要綱に基づき、「第2子以降、3

歳未満児に係る保育料の無償化」を実現するため、両保育園の現行条例を一部改正するものです。

問 今回の保育料軽減について、国や道からの補助などの利点はどの位あるのか。

また、このことで、

独自で行ってきた本村の子育て支援策の特徴が埋没していく可能性があるが、今後の方針は。

答 国からの補助金の額については、現時点で試算はできていないが、道から保育料の2分の1が村に補填されるといふ財政的な利点がある。しかし、今後未満児の入園者数が増加した場合、昨今の保育士不足の状況を考えると人員の確保が難しく、保育園運営においては不安材料になる可能性はある。

村独自の子育て支援策については、財政状況を勘案しながら、教育面の充実など村の独自性をどう打ち出すか新たな視点で考えたい。

原案通り可決

補正予算

◆平成29年度中札内村一般会計補正予算

一般会計補正予算

森田村長選挙公約から、年度途中においても早期実施可能である事業、また年度当初において政策予算とした未計上事業や緊急的な修繕事業などについて補正されました。

歳出

○総務費(役務費)

10万4千円

主要5施設(役場庁舎、保健センター、文化創造センター、体育

館、交流の杜)のWiFi設置に係る通信料を追加するもの。



○予防費

(予防接種事業費)

32万6千円

インフルエンザ予防接種の助成を高校生まで拡大するため追加するもの。

○まちづくり推進費

(報償費)

24万円

問 具体的な内容は。

答 最も美しい村連合への加盟に伴い今年度シンポジウムを予定しており、札幌在住の景観アドバイザーに

関わっていただくための旅費と謝礼を追加するもの。

産業文教 常任委員会

村内農作物作況調査

今後の生育に期待

①日時

9月6日(水)

②場所

村内圃場3カ所

③調査の結果

村農業委員会との合同で、主要作物の作況調査を実施しました。

大豆・小豆など豆類は、8月の低温が響き生育はやや遅れぎみですが、てん菜は平年作が見込まれ、馬鈴しょは芋数は多いですが小玉傾向にあり、今後の太りが期待される状況でした。



作況調査の様子

編集後記

新しく広報委員に選任されました。皆さんに解りやすく読んで頂ける議会広報づくりに努めますので、よろしく願います。

今年も早いもので残り2か月となりました。7月の猛暑日は、92年ぶりに3日間連続となるなど、とても暑かったり、8月は低温だったり気温の差が大きかった夏でした。昨年の甚大な台風被害を考えると、今年の台風も大変心配されましたが、多少の被害で通過してくれ、一安心でした。色々な気象条件の中、農作物の収穫も進み、豊穰の秋を迎えることができ、農家の皆さんのご努力に感謝します。

議員は皆さんの想いを村政に届け、元氣のある村・中札内を創るため頑張っておりますので、たくさんのご意見を聞かせて下さい。(黒田)